

臨床検査科

臨床検査科技師長 熊川忠

1 部門目標

- ・学会・研修会への参加率向上と、資格・認定資格取得の向上。
- ・院内研修への参加率向上。

2 業務体制・スタッフ

臨床検査科は、採血、検体検査（生化学・免疫・血清・血液・凝固・尿一般・輸血・細菌微生物）、生理機能検査、耳鼻科関連検査、病理・細胞診検査の各部門を検査技師 19 名、非常勤検査技師 4 名と委託職員(BML)6 名の合計 29 名（3 名育児休暇のため実質 26 名）のスタッフで運営し、日直・宿直・夜間勤務については常勤職員 1 名と委託職員 1 名の計 2 名で対応している。（委託会社は生化学・免疫・血清検査を実施）

3 業務実績

検査総件数は、昨年度 120.3 万件に対し、今年度は 119.3 万件とほぼ同等であった。昨年度と比較した内訳は、血液検査部門は 104%・262.658 件、採血部門は 110%・26.527 件、一般検査部門は 114%・130.065 件、輸血検査部門は 109%・12.456 件、細菌検査部門は 134%・29.457 件、病理検査部門は 99%・10.605 件、生化学・免疫検査部門は 103%・9.324.628 件、外注検査は 108%・4.771.287 件、生理検査部門は 110%・12.528 件、耳鼻科検査部門は 91%・3.265 件であった。検査件数は以前に戻りつつ、細菌検査においてはコロナ関連検査が今年度も収益増となっている。院内各種委員会等にも積極的に参加し、主な委員会としては、輸血療法委員会（副委員長）、感染防止対策委員会(事務局)、医療安全管理対策委員（セーフティーマネージャー）、SCT 委員会、ICT 委員会(委員長)、NST 委員会などチーム医療に参加し、CPC を開催するにあたり資料作りなど日常の業務と平行して励行し、病院運営に寄与している。毎年受け入れをおこなっている臨地実習生に関してはコロナの影響で今年度も受け入れることができなかった。

4 1 年間の総括

部門目標とした「学会・研修会への参加率向上と、資格・認定資格取得の向上」合計 19 人が 214 の学会・研修会に参加、1 人平均 11.2（昨年度 6.5）回の参加、with コロナによる学会、研修会が WEB での開催が主となり参加しやすい環境となったため更に昨年度よりさらに増加したと考えられる。このような状況でも各分野で認定資格の取得に励み、より専門的な知識や技術の研鑽に努めている。院内の SARS-CoV-2 検査（遺伝子増幅法）を検査科全職員で 24 時間体制とし病院運営に貢献できました。

新病院の機能に対応すべく検査室の設計・設備の準備を各部門で進め年度末には設計まで完了する事ができました。

5 今後の目標

新病院準備に向け、高度な診療を支えていくためには更なる専門的な知識や技術が求められるため、今後も学会・研修会へ意欲的に参加し、自己研鑽に努め、技術・情報の収集・学会・研究会での発表・投稿を積極的におこなう機会を設け、医師や看護師の業務軽減につながるようタスクシフト/シェアにも参画していくためにも、まず SARS-CoV-2 の検体採取を開始し、医療安全管理などのチーム医療に積極的に取り組むために検査科より院内広報誌発刊して院内で検査に係わるインシデントを減らせるように努めていき、今後、新病院機能に対応すべく検査体制を強化した設備、検査機器備品更新導入に向けて準備を進めていこうと考えます。

臨床検査科令和3年度学会発表・論文・著書等

【令和3年度】

- 1) SARS-CoV-2LAMP 法実施近隣施設との連携による精度管理の取組
静野健一
第70回日本医学検査学会(2021年5月:配信)
- 2) 臨床に役立つ検査結果報告 ～グラム染色の活用事例から
静野健一
The Medical & Test Journal(2021年6月:発行)
- 3) partial D の母体管理において抗Dヒト免疫グロブリンを投与した一例
丹麻美 大塚結衣 溝口亜由美
第152回日本輸血・細胞治療学会関東甲信越支部例会(2021年9月:配信)
- 4) グラム染色の基礎から応用 ～付加価値のある結果報告を求めて～
静野健一
第33回日臨技首都圏支部・関甲信支部微生物研修会(2021年11月)
- 5) 培養検査の基礎
静野健一
第3回ニッスイ感染症セミナー(2021年12月)
- 6) 市中病院からみた微生物検査のコストと実際
静野健一
第33回日本臨床微生物学会(2021年1月)
- 7) 検体採取・輸送・保存方法および POCT 検査法ガイド
静野健一(執筆・作業部会長)
日本臨床微生物学会雑誌(2022年3月:発行)
- 8) MIPPC =1 または $2\mu\text{g/mL}$ を示す CNS について
静野健一
第26回関東甲信地区マイクロスキャン研究会(2022年3月)